



八 剣 山 通 信

第 3 7 号

八 剣 山 発 見 隊

2005年 4 月 1 1 日 発 行

4月10日(日)「椎茸の菌種打込み体験会」を実施しました。

【行事の概要】

4月に入りましたが、八剣山のふもとの果樹園は、まだ雪に覆われています。今年は雪が多かったため、雪解けも例年より10日以上も遅くなっているようです。

今回は、発見隊の隊員である水口さんのご協力によって、北広島市で水口さんが整備を進めている山林「フロンティア水口」において、椎茸の菌を間伐材として切り出したほだ木に打ち込みます。時間に余裕があれば「ナメコの菌」の打ち込みも行いたいと思います。

今回、椎茸の菌を打ち込んだほだ木は、参加者に格安で販売するほか、後日、八剣山のふもとに運んで、そこでキノコを生産し販売も行う予定です。

今回の行事を一つのきっかけとして、八剣山のふもとにおいて大々的にキノコを生産することにより、キノコの里としてPRすることも考えています。

なお、今回実施する「フロンティア水口」は、水口さんが森林の中において一人でコツコツと居住施設や炭焼き小屋、パークゴルフ場などの施設整備を手作りで進めており、将来は多くの人を訪れる憩いの場を目指しています。八剣山地域との連携も、今後は大いに考えていく必要があると思います。

・主 催：八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】



★ 今回実施した場所

果樹を育てる作業体験者を募集しています(ボランティア)。
5月：リンゴのフラン病削り、ブドウの柵作り 等
砥山ふれあい果樹園(瀬戸修一) &FAX 011-596-2694

【行事の感想】

今回の行事の場所である北広島の「フロンティア水口」も雪解けが遅れ、まだ雪に埋もれていました。昨年9月の台風により折れたり倒れたりした樹木を水口さんのご厚意により、ほだ木として提供していただきました。

ほだ木運びと、水口さんが用意してくださった作業台にほだ木を載せて、ドリルで穴を15~20センチ間隔で開ける作業と穴に椎茸の菌を打ち込む作業を分担して行いました。作業自体はそれほど難しくははありませんでしたが、雪の上をソリに乗せてほだ木を集める作業は、雪に足を取られるなど大変苦労しました。今回は100本を超えるほだ木に菌を打ち込みましたが、後日、瀬戸さんの果樹園にほだ木を運び込んで、椎茸の生産に向けた準備を行います。

お昼には、持参したおにぎりとお水口さんの奥さんが作ってくださった豚汁を堪能するとともに「フロンティア水口」の整備について、水口さんから説明を受けました。また、午後からは、水口さんが整備した炭焼き小屋及びそこで作られた炭についても見学させていただきました。

今回、菌を植付けたほだ木から椎茸が収穫されるのは、今後、数工程の作業を行って来年の秋ごろになる予定です。



【ほだ木への菌の植付けと穴あけ作業】

【今後の行事予定】

- ・5月 8日 2005 桜の苗木植樹
- ・5月22日 サクランボの花による花見会

発行：八剣山発見隊事務局(事務局長 山澤 敬)
061-2274 札幌市南区小金湯510番地
011-596-2920 FAX 011-596-2920
<http://sapporo.cool.ne.jp/hakentai/>

椎茸の菌種打込み体験会



【 来年秋に収穫予定の椎茸 】



【 敷地内の各所から集められたほだ木 】



【 ほだ木の運搬作業 】



【 集められた菌を植え付ける前のほだ木 】



【 ほだ木の穴あけ作業 】



【 ほだ木への菌の打込み作業 】

